

ブラウザ拡張機能の更新

本資料では、資格確認端末にインストールされているブラウザ拡張機能の更新手順を説明します。

この資料で説明すること

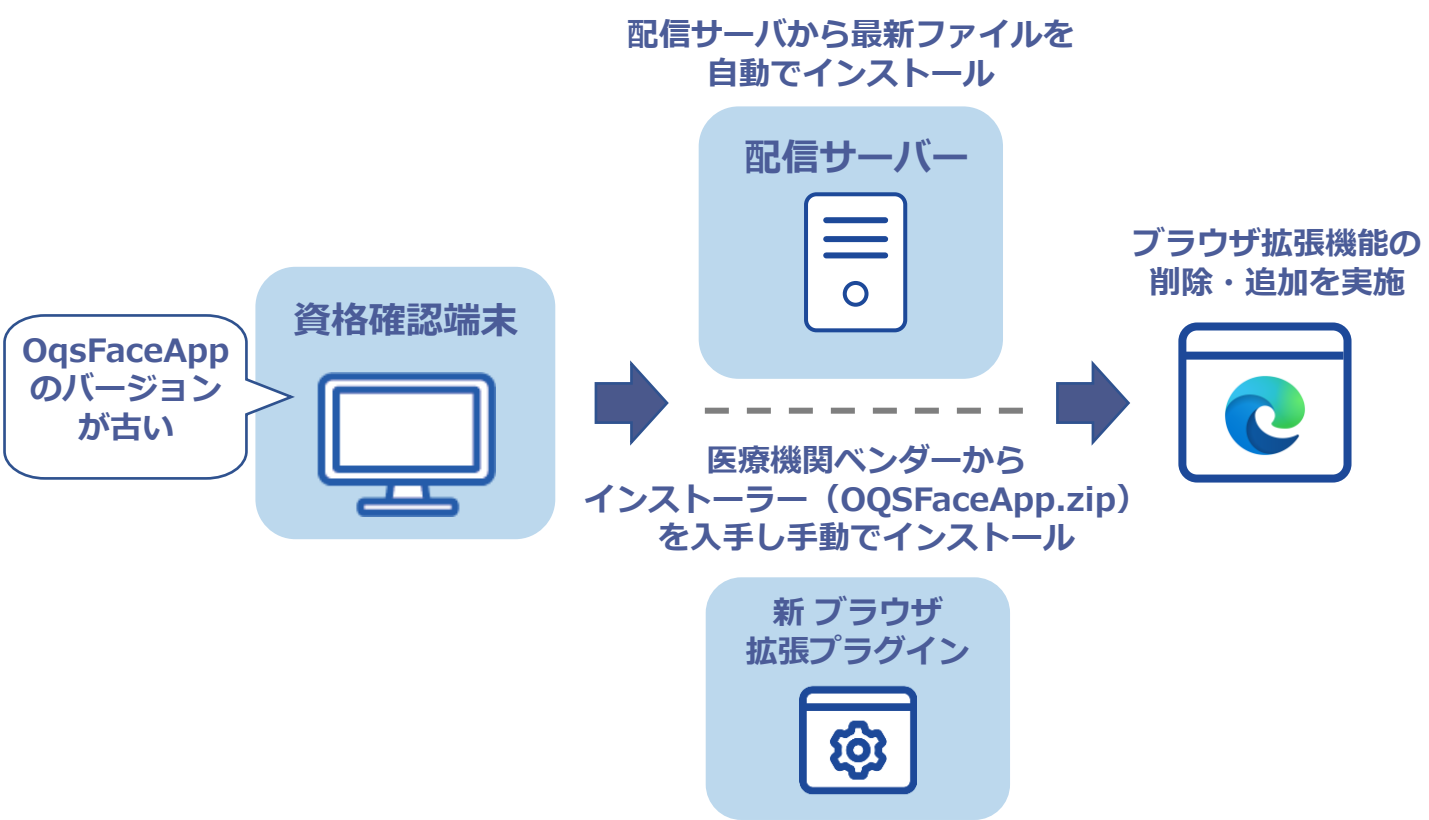
資格確認端末のブラウザ拡張機能の更新作業の流れについて説明します。

セキュリティバージョンアップ等の対応に伴いブラウザ拡張機能を更新する際は、事前にブラウザ拡張プラグイン（顔認証ライブラリ含む）をアップデートする必要があります。配信アプリケーションやインストーラ（OQSFaceApp.zip）を用いて既にアップデートされている場合は、ブラウザ拡張機能の削除及び設定のみ実施してください。

※右図の作業の流れ「操作2」及び「操作3」は不要です。



ブラウザ拡張プラグイン（顔認証ライブラリ含む）が古いバージョンの場合は、アップデートを実施した後にブラウザ拡張機能の削除及び設定を実施してください。



事前準備

医療機関等ベンダーより以下のアプリケーションを入手しインストールしていること。



● OqsFaceApp.zip

オンライン資格確認端末で、ブラウザとカードライブラリまたは顔認証ライブラリとの通信を行うために使用します。
本ファイルには、以下の3つの拡張機能が含まれています。

- 顔認証用アプリケーション
- 暗証番号認証用アプリケーション
- 目視確認操作用アプリケーション

作業の流れ

▶▶▶ 参照先を記載しています。

以下の操作は、資格確認端末のセットアップユーザでログインしてください。
セットアップユーザのID及びパスワードは各医療機関等にてご確認ください。
複数の資格確認端末を使用している場合は、端末台数分同じ作業を実施してください。

操作1 OqsFaceAppのバージョンを確認する ▶▶▶ P.2

OqsFaceAppのバージョンが2.3.0より前の場合

OqsFaceAppのバージョンが2.3.0以降の場合

操作2 配信アプリケーションの使用有無を確認する ▶▶▶ P.3

操作3 OqsFaceAppをアップデートする ▶▶▶ P.4

操作4 ブラウザ拡張機能を削除する ▶▶▶ P.5

操作5 ブラウザ拡張機能を設定する ▶▶▶ P.6

1 QqsFaceAppのバージョンを確認する

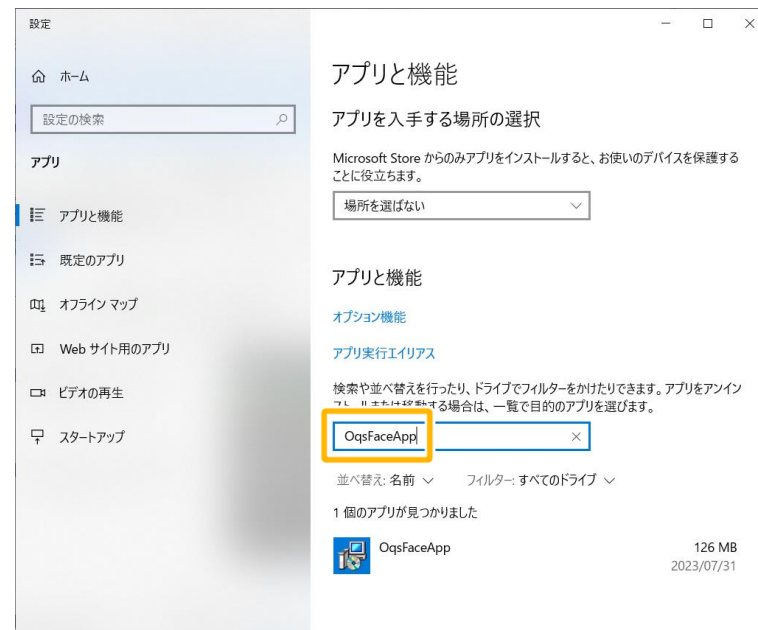
資格確認端末にインストールされているブラウザ拡張プラグイン（顔認証ライブラリ含む）のバージョンを確認します。

1 🔍 検索をクリックし、検索ボックスに **アプリと機能** と入力します。

2 検索結果から、**アプリと機能** をクリックします。



3 検索ボックスに **QqsFaceApp** と入力します。



4 QqsFaceApp を選択しバージョン情報を確認します。

アプリと機能

オプション機能

アプリ実行エリアス

検索や並べ替えを行ったり、ドライブでフィルターをかけたりできます。アプリをアンインストールまたは移動する場合は、一覧で目的のアプリを選びます。

QqsFaceApp

並べ替え: 名前 フィルター: すべてのドライブ

1 個のアプリが見つかりました



● バージョンが2.3.0より前の場合

➡ 2 配信アプリケーションの使用有無を確認するに進みます

● バージョンが2.3.0以降の場合

➡ 4 ブラウザ拡張機能を削除するに進みます

2 配信アプリケーションの利用有無を確認する

医療機関等で配信アプリケーションを利用しているか否かを確認します。
※資格確認端末のセットアップユーザでログインしてください。

確認① 配信アプリケーション管理ツールの有無を確認

資格確認端末のデスクトップに、右図に示す
オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツールのショートカットが存在するか否かを確認します。



存在する

確認②配信アプリケーションが有効か無効かを確認に進みます

存在しない

配信アプリケーションを使用していません。
▶▶ 3 OqsFaceAppをアップデートする に進みます

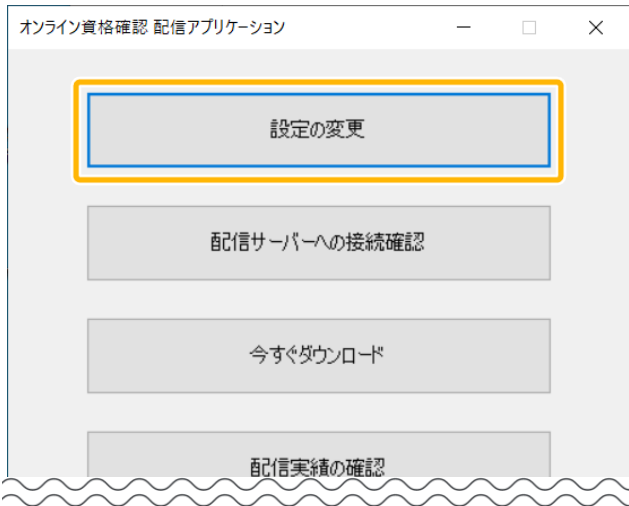
確認② 配信アプリケーションが有効か無効かを確認

1 オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツールをダブルクリックします。



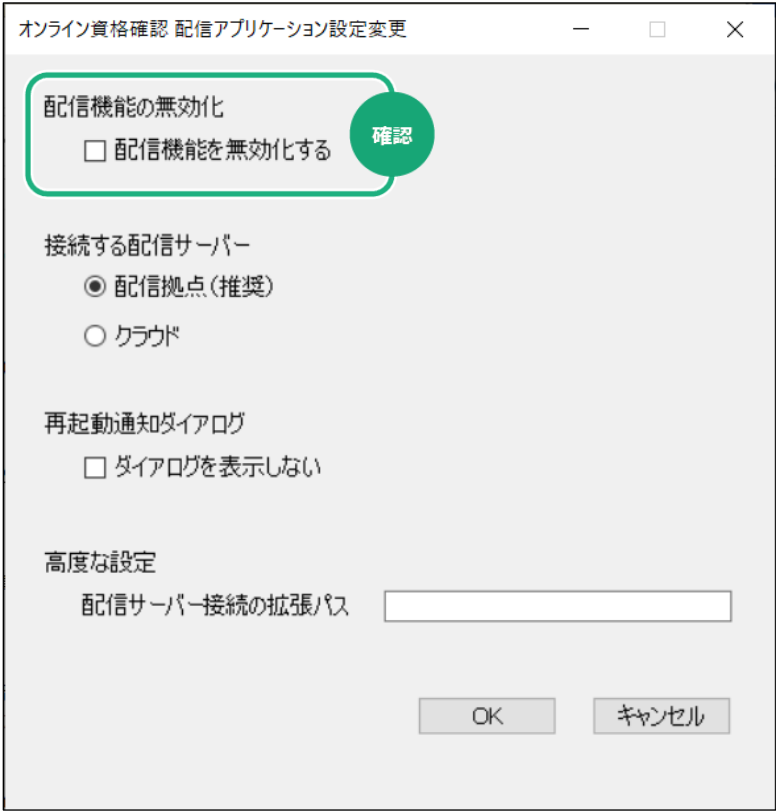
2 オンライン資格確認 配信アプリケーションが表示されます。

設定の変更をクリックします。



4 オンライン資格確認 配信アプリケーション設定変更が表示されます。

配信機能を無効化するにチェックが入っているかを確認します。



チェックがある

配信アプリケーションを使用していません。

チェックがない

配信アプリケーションを使用しています。



配信アプリケーションの利用有無を確認できました。

▶▶ 3 OqsFaceAppをアップデートする に進みます

3 OqsFaceAppをアップデートする

「操作2 配信アプリケーションの使用有無を確認する」の結果をもとに、各パターンに沿ってOqsFaceAppを更新してください。
※既にOqsFaceAppのバージョンが 2.3.0以降の場合、本ページの手順の実施は不要です。

配信アプリケーションを使用している場合

別紙 トラブルシューティング 補25「各種アプリケーションのバージョンを今すぐ最新化したい」に従ってアプリケーションを更新します。

別紙 トラブルシューティング 補25

配信アプリケーションを使用していない場合

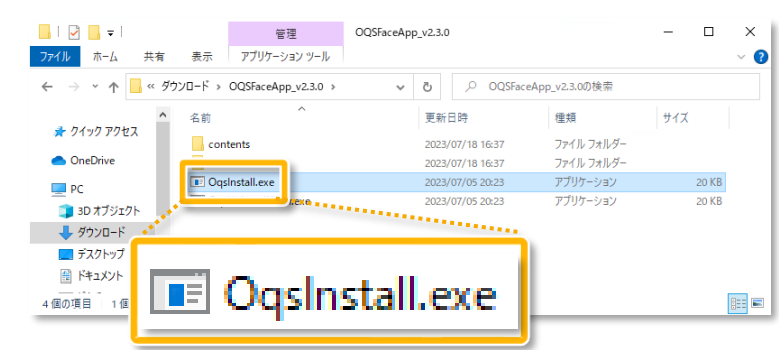
医療機関等ベンダーより最新のブラウザ拡張プラグイン（顔認証ライブラリ含む）のインストーラー（OQSFaceApp.zip）を入手しアプリケーションを最新化します。

1 ブラウザ拡張プラグイン（顔認証ライブラリ含む）の**セットアップファイル**をダブルクリックします。

こんなときは！

メッセージ画面が表示された場合

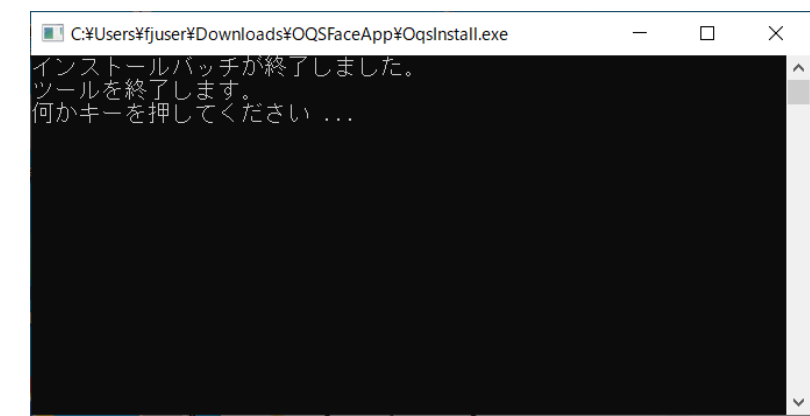
このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？というメッセージ画面が表示された場合は、**はい** をクリックしてインストールを続行します。



2 インストール画面が表示されます。



3 コマンド画面に「インストールバッチが終了しました。」と表示されることを確認します。



注意

OqsFaceApp（顔認証ライブラリ含む）のインストーラーの実行により、スマートカードからの証明書の伝達をオンにする のポリシーが無効になります。そのため、証明書伝達サービス (CertPropSvc) が利用できなくなりますので、以下の機能を利用されている場合は、別紙 トラブルシューティング 補4「証明書伝達サービス (CertPropSvc) を利用するアプリケーションを利用したい」に従ってポリシーを有効にしてください。

別紙 トラブルシューティング 補4

■ 証明書伝達サービス (CertPropSvc) が利用できなくなることによって影響する機能の一例

- マイナンバーカード以外のスマートカード(ICカード) による電子証明書の認証
- 外部セキュリティ キー (FIDO2 セキュリティ キー) による認証
- SIM のご利用

4 Windowsを再起動します。

5 「操作1 OqsFaceAppのバージョンを確認する」を再度実施しバージョンが更新されていることを確認します。



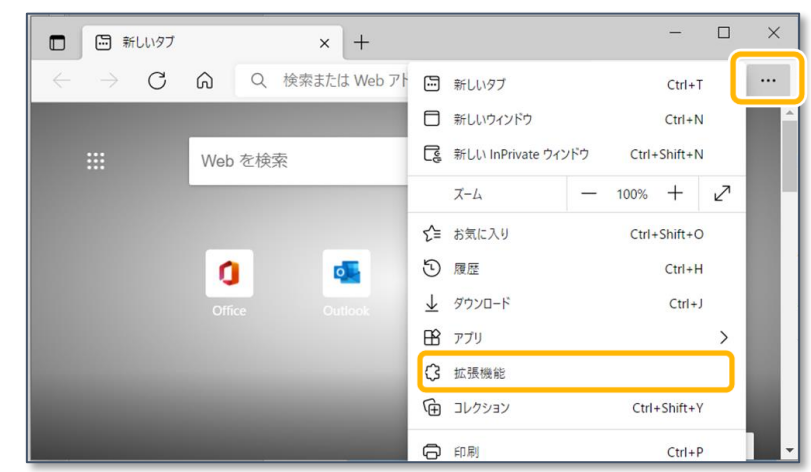
OqsFaceApp をアップデートできました。

4 ブラウザ拡張機能を削除する に進みます

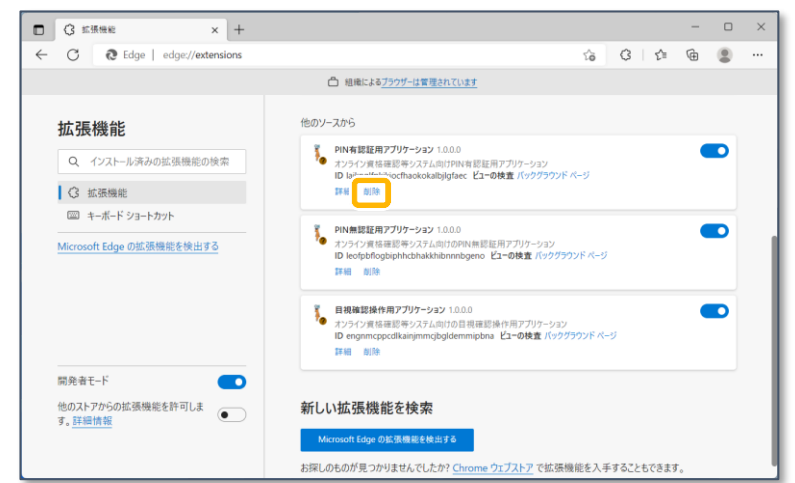
4 ブラウザ拡張機能を削除する

Microsoft Edgeに登録されている拡張機能を削除します。

- 1 Microsoft Edgeを起動し、
...（設定など）から**拡張機能**をクリックします。



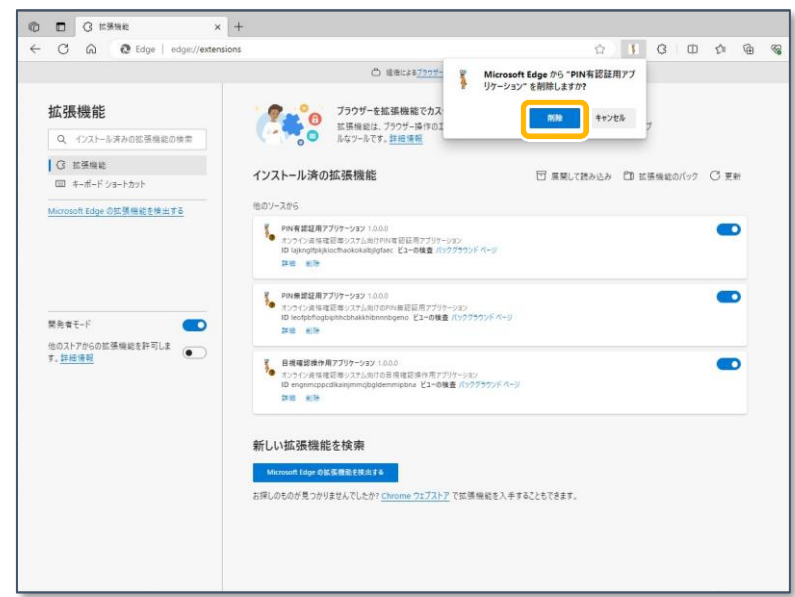
- 2 拡張機能が表示されます。
以下の3つの拡張機能を削除します。
- PIN有認証用アプリケーション
 - PIN無認証用アプリケーション
 - 目視確認操作アプリケーション



各機能の**削除**をクリックします。

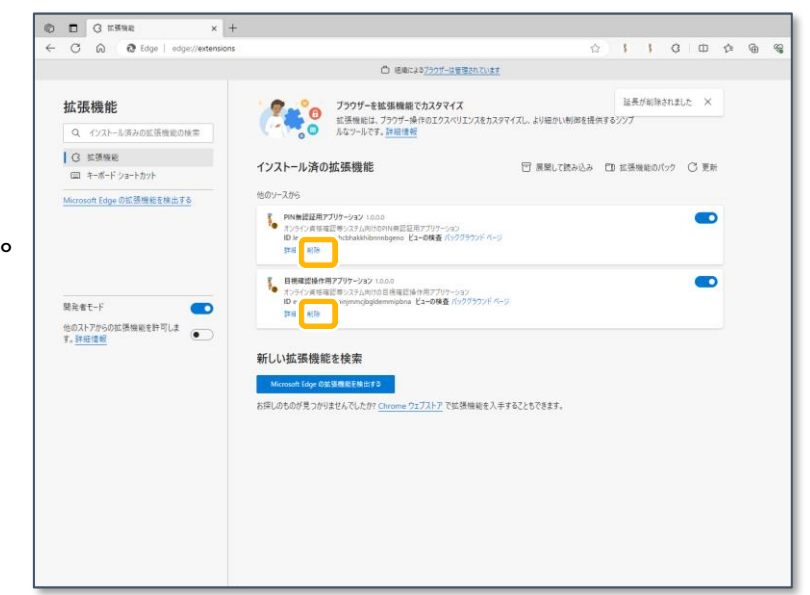
- 3 確認メッセージが表示されます。

削除をクリックします。



- 4 拡張機能が削除されました。
同様にその他の拡張機能も削除します。

- 2 3 の操作を繰り返します。



- 5 3つの拡張機能が削除されたことを確認されます。

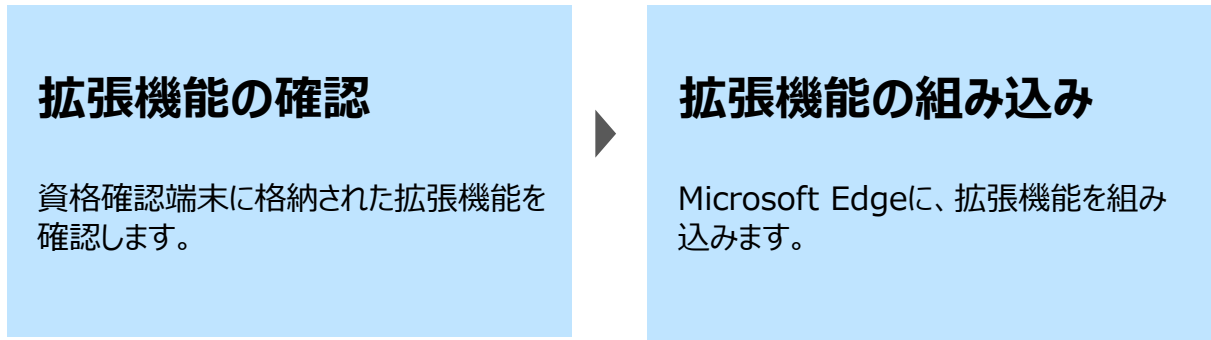


ブラウザの拡張機能が削除できました。

5 ブラウザ拡張機能を設定するに進みます

5 ブラウザ拡張機能を設定する

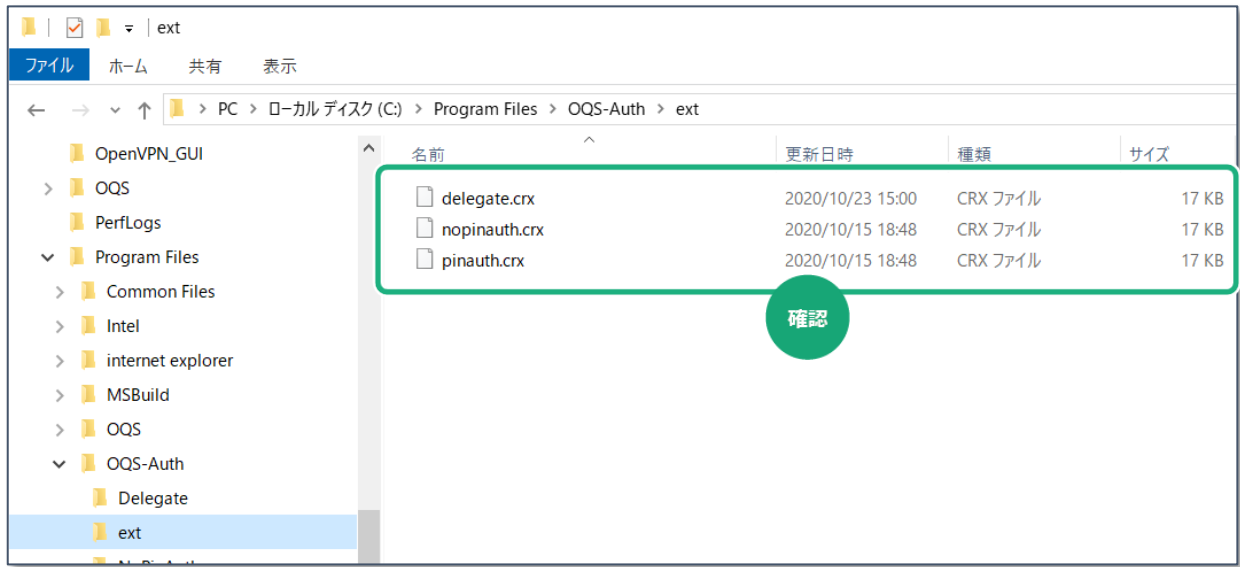
Microsoft Edgeに拡張機能を設定します。



拡張機能の確認

資格確認端末に格納されている拡張機能を確認します。
以下のフォルダを開き、3つのファイルが格納されていることを確認します。

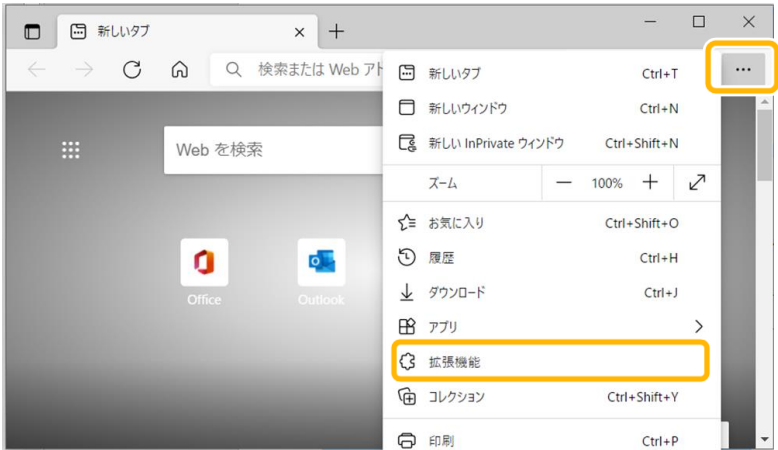
フォルダ名	ファイル名	説明
c:¥Program Files¥OQS-Auth¥ext	delegate.crx	目視確認操作アプリケーション
	nopinauth.crx	顔認証用アプリケーション
	pinauth.crx	暗証番号認証用アプリケーション



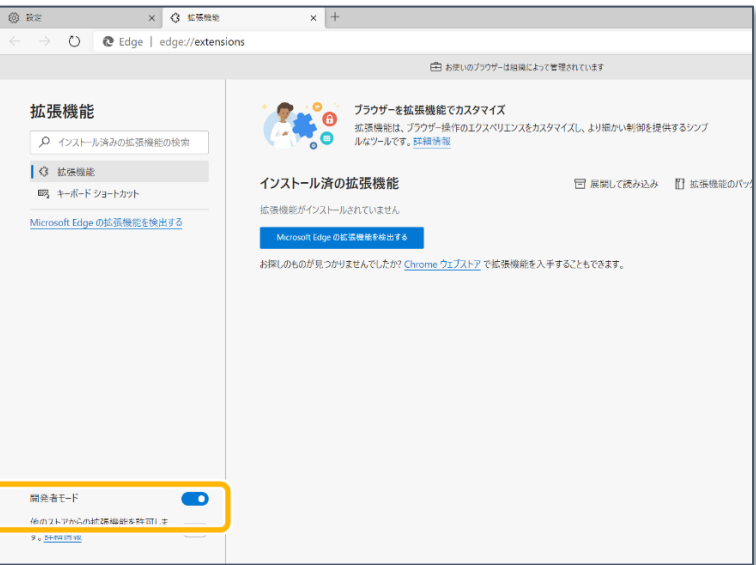
拡張機能の組み込み

Microsoft Edgeの拡張機能に、確認した3つの機能を追加します。

- 1 Microsoft Edgeを起動し、
...（設定など）から**拡張機能**をクリックします。

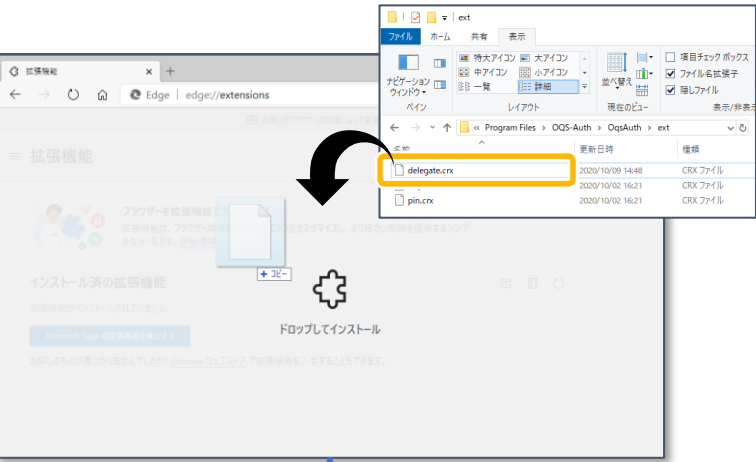


- 2 拡張機能が表示されます。
開発者モードの設定を有効
（トグルボタンが右側にある
状態）にします。



- 3 エクスプローラーで、ブラウ
ザ拡張機能がコピーされた
フォルダ（※）を開きます。
※c:¥Program Files¥OQS-Auth¥ext

delegate.crxをMicrosoft
Edgeの画面にドラッグして
ドロップします。

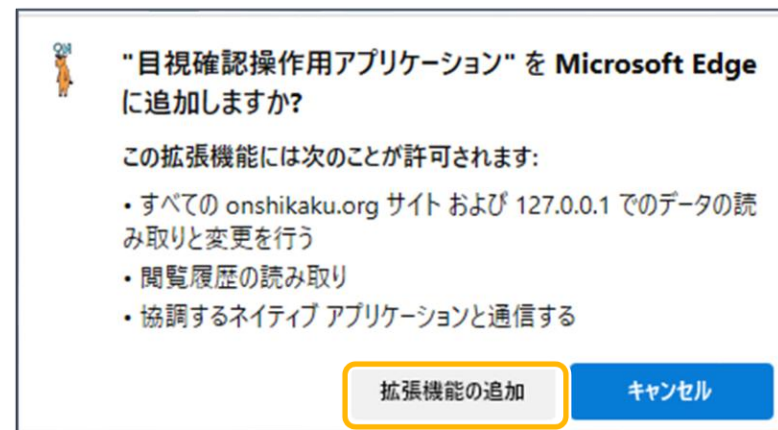


4 へ進む

5 ブラウザ拡張機能を設定する（つづき）

- 4 確認メッセージが表示されます。

拡張機能の追加をクリックします。



- 5 追加完了メッセージが表示されます。

×（閉じる）をクリックします。



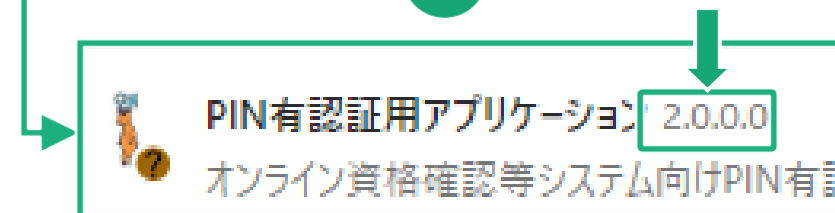
- 6 Microsoft Edgeに拡張機能（目視確認操作用アプリケーション）が追加されました。

同様に、nopinauth.crx、pinauth.crxを追加します。
③～⑤の操作を繰り返します。



- 7 すべての拡張機能が組み込まれると、右図のように3つの機能が表示されます。

拡張機能のバージョンが2.0.0.0以降となっていれば設定完了です。



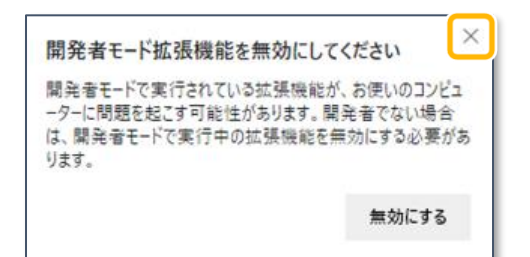
- 8 拡張機能のメニューを表示します。

開発者モードの設定を無効（トグルボタンが左側にある状態）にします。



注意

ブラウザ再起動時に、開発者モードの無効を促すメッセージが表示される場合があります。開発者モードの無効を促すメッセージが表示された場合は、× ボタンをクリックしてメッセージを閉じてください。



5 ブラウザ拡張機能を設定する（つづき）

- 9 別紙 医療機関等向けセットアップ手順書（資格確認端末編）「12資格確認できるか確認する」に従ってマイナンバーカードと汎用カードリーダーを用いて資格確認を実施します。

▶▶ 別紙医療機関等向けセットアップ手順書（資格確認端末編）
12. 資格確認できるかを確認する



ブラウザの拡張機能の更新が完了しました。